



# 千里みらい夢学園通信

学ぼう  
つながろう  
やりぬこう

竹見台中学校・桃山台小学校・千里たけみ小学校

No.1 令和3年7月20日 発行



## 『千里みらい夢学園の小中一貫教育』

学園長 桃山台小学校 小早川 靖樹

今年度、学園長を拝命いたしました桃山台小学校校長の小早川靖樹です。竹見台中学校で教頭として3年、桃山台小学校の校長として1年を終え、千里みらい夢学園の教職員とともに小中一貫教育の推進に関わって、5年目を迎えることになりました。引き続きよろしくお願いいたします。

さて、千里みらい夢学園は、吹田市における施設分離型小中一貫教育校のリーディングスクールとして開園して11年目を迎えました。開園当初から「学ぼう・つながろう・やりぬこう」を学園目標とし、3校でサークルを構成し、小小連携と小中連携を進める中、金曜日登校を筆頭とする小中一貫教育の様々な取組を通し、小学校との大きな違いに戸惑いを感じたり、悩んだりして生活に馴染めない「中1ギャップ」等の不安を事前に取り除く解消策を講じています。そんな小中一貫教育の取組ですが、現在大きな改革を進めています。

一番大きな改革は金曜日登校です。昨年度まで金曜日登校は年間15回、多い時には20回数回実施していましたが、クラス数の増加に伴い、竹見台中学校で小学生が使用する教室を確保することが難しくなりました。そこで、今年度は両小学校が中学校へ登校する日を分け、教室の確保に努めました。各学期3回ずつ金曜日登校を実施し、そのうち1回を合同の日とし両小学校で行事に取り組むことにより、交流することを計画しました。金曜日登校の回数は少なくなりましたが、状況に応じ中身、内容を変えながら、この素晴らしい取組を続けていきたいと考えています。

コロナ禍による教育活動の制限も、小中一貫教育の取組に大きな影響を与えています。体育大会、中学校のクラブ紹介への参加、小学生と中学生で行う小中レク、両小学校が交流する小小スポーツなど、特色ある行事が軒並み延期または中止になりました。感染症拡大防止に配慮しながら、今できることを学園の教職員が知恵を絞り、協力しながら進めていきたいと考えています。

今後も小中学校の連携の強化を図りながら、教職員が一丸となり、「15歳の学力」に責任を持つという理念のもと様々な取組を進め、9年間を通して子どもたちを育成してまいりますので、引き続きご理解ご協力くださいますようよろしくお願いいたします。



## 『 学園だからできること、学園しかできないこと 』

副学園長 千里たけみ小学校 角田 睦

千里たけみ小学校長3年目となりました。今年度もどうぞよろしく申し上げます。

さて、先日他府県から転入を予定されている保護者の方から問合せがありました。「学校HPを見ると千里みらい夢学園とありましたが、小学校とどう違うのですか？」と。吹田市における小中一貫教育のリーディングスクールをはじめ、様々な取組の一部分をかいつまんで説明しました。大変興味深く聞かれていました。ここ2年間は外部への発信がなかなかできませんでしたが、コロナ禍においても知恵を出し合いながら取組を進めてきました。「井の中の蛙」ではありませんが、常に外から見られていることも再確認できました。

大きな行事はなかなかできませんが、小中、小小の教職員間の連携は密に図れているのではないかと思います。特に、生徒指導プロジェクトで共有ファイルを作成したり、各教科部会での教科研究が進められたり、と学園の児童生徒を3校で育てていくことの大切さを感じています。今後も「学園だからできること」、「学園しかできないこと」を模索しながら、3校の教職員が同じ方向を向いて一緒に頑張っていきましょう。



## 『小中9年間を通して学ぶ』

副学園長 竹見台中学校 小林 太郎

千里みらい夢学園竹見台中学校校長の小林太郎でございます。日頃は、千里みらい夢学園の教育活動にご理解ご協力いただきありがとうございます。

さて、本学園のめざす子ども像は、

- ・ 自ら学び、最後までやりぬく子ども
- ・ 自分の気持ちや考えを表現できる子ども
- ・ とともに助け合い、自他ともに大切にできる子ども です。

これは小学校では昨年度、中学校は今年度から全面实施となった新学習指導要領の趣旨を反映した目標であり、まさに子どもたちに付けたい力です。このような力を身に付けるために、金曜日登校や行事交流、小中の教職員が集まったの研究活動など様々な取組みを進めています。

今年度の小6の金曜日登校は少し形を変えリニューアルしましたが、1学期は各小学校とも3回ずつ中学校へ来てくれました。3回ではまだまだ緊張しているかと思いきや、すでに中学校に慣れてのびのび過ごしている人が多いことに驚いています。これは小学生にとっても中学生にとっても小中学生が同じ校舎にすることが、良い意味で当たり前になってきていると捉えています。

こうして小中9年間を通して学ぶ（育てる）という意識を、子どもも先生も、そして保護者の方や地域の方も自然ともつことにつながっていると考えています。コロナ禍の影響で、様々な制限がある中での教育活動になりますが、ご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

新しい形の

# 金曜日登校が始まりました！

今年度の金曜日登校がスタートしました。小学 6 年生のクラス数が増えたことを受けて、今年度から新しい形の金曜日登校になります。

## ○新しい金曜日登校について

①年間10回（各学期3回【千たけ小の日2回、桃小の日2回、合同の日1回】）を実施。

（7月2週目以降、8、9、3月は実施しません。）

<開校式・オリエンテーション>…4/23

<千たけ小の日> 1学期…5/14・6/4、2学期…10/29・11/12、3学期…1/21・2/4

<桃小の日> 1学期…5/28・6/11、2学期…10/22・11/19、3学期…1/14・1/28

<合同の日> 1学期…6/25（中止）、2学期…12/10、3学期…2/18

②千たけ小・桃小の日は、中学校に直接登校し50分×6限の授業を受けます。

③合同の日は、午前は小学校で過ごした後、午後から中学校に登校し、5、6限にみらい夢タイム（千たけ小と桃小と一緒に活動する時間）を行います。

④登校日でない金曜日は小学校で6限の授業をします。

4月23日（金）は、午後から千たけ小・桃小で時間をずらして竹見台中学校に登校して、開校式とオリエンテーションを行いました。開校式では、学園長・副学園長のお話を聞き、中学校の生活指導の高橋基先生から中学校生活のきまりについて教えてもらいました。そのあと中学校の校舎内を見学し、これからの金曜日登校を楽しみに下校しました。



竹中の校長先生からのお話



中学校給食のメニューってこんな感じ…



「1年間よろしくお願いします」



「職員室と保健室はここですよ」

千たけ小の2回目は5月14日(金)、桃小の2回目は5月28日(金)でした。朝から中学校に登校して、初めての50分授業やパン購入など、一足早い中学校での生活を体験しました。昼休みも、中学生に交じて大きなグラウンドで遊ぶ姿が見られました。

金曜日登校の日は、普段の授業の他に、小・中学校の先生が様々な教科の出前授業を行います。年間を通じて、竹中の先生が「音楽・美術・体育・英語」、桃小からは、1学期に「聴こえの学習」を行いました。また、千たけ小からは、2学期にNTT DoCoMoさんに来てもらって「情報モラル」の授業を予定しています。

また、1学期は新型コロナウイルス感染症の影響で中止になりましたが、今後小学校同士の交流や小中学生の交流も予定されています。中学生にとってもよい体験になるよう取り組んでいきます。



出前授業「聴こえの学習」



全員後ろを向いて昼の黙食



昼のパン販売のようす



小中入り混じったグラウンド